

目 的

将来を担う中学生に、きもの（浴衣の着付けなど）を通して日本の心と美を育むとともに、現代マナーの実習に日本の伝統文化の継承を図ること、きものの自装では自立を、他装では他人を思いやる心を培う

10月24日（火）本日、体育館において「**中学校きもの授業**」を2年生を対象に行いました。これは「日本時代衣裳文化保存会」が主催する事業で、本校では家庭科の学習の一環として行っています。今回「**小林豊子きもの学院**」から4名の講師の方が来校され、生徒にきものについての知識や、浴衣の着方を教えてくれました。1，2時間目は2年2組，3，4時間目は2年1組の生徒達が真剣に講師の先生方の説明を聞き、浴衣の着付けにトライしていました。

今回の着付け体験を受け、改めて着物や浴衣の美しさを知ることができ、浴衣を着ることで心も晴れ晴れとして良い気持ちになりました。来年の夏にでも、浴衣を自分で着てみようかな、と思います。

2-1 生徒 感想

着付け授業の感想は、まず、見たことのない初めての結び方を習ったけど、とても難しかった。また、いろいろな帯について教えてもらい、いままで同じだと思っていた浴衣と着物の違いなどたくさんのがしれて、とても楽しかったです。今回学んだ浴衣の着付け体験を、今後機会があれば生かしていきたいです。

2-2 生徒感想

今回ご指導いただいた4名の講師の皆様、丁寧に着付けの手順や着物の知識を教えてくださいいただき本当にありがとうございました。生徒達にとって忘れられない新たな発見と貴重な体験となりました。

